

学期	月	学習内容	評価規準	主な評価方法
1	4	1 広がる学びへ(18H) 「見えないだけ」 「アイスプラネット」	詩の内容や表現に興味をもち、読み方を工夫して朗読する。(2)(3) 登場人物や作者の思いを的確にとらえる、適切な表現で感想をまとめる。(2) 新出漢字を正しく読み書きする。(1)	ノート プリント 定期テスト
	5	「枕草子」 熟語の構成 問いを立てながら聞く	古典に興味関心を持って正しく音読し、暗唱する。(2)(3) 口語訳を参考に当時の時代状況や人々の思いを読み取る。(2) 古語の意味や用い方を理解する。(1) 熟語の構成を理解し、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。(3) メモを取りながら聞き、要点を確認する。(2)	漢字テスト 聞き取りテスト 話し合い活動 プレゼンテーション 意見文 鑑賞文
	6	2 多様な視点から(17H) 「クマゼミの増加の原因を探る」 「具体と抽象」 「魅力的な提案をしよう」 単語をどう分ける？	主張と例示の関係、文章と図表などの関係を理解を深め、学習の見通しをもって考えたことを話し合おうとしている。(2)(3) 具体と抽象の関係について理解しようとし、説明している。(1)(3) 意欲的に情報を集め、取捨選択して作成する。(1) 構成を工夫して自分の伝えたい事柄を明確に書き、互いに読みあって自分の表現に役立てる。(1) 単語の種類を知る(1)	
	7	情報社会を生きる(2H) 3 言葉と向き合う(8H) (4H) 読書生活を豊かに(2H)	メディアを比べよう「自分で考える時間」をもとう 「短歌に親しむ」「短歌を味わう」 「言葉の力」 読書を楽しむ 翻訳作品を読み比べてみよう	同一の話題について書かれた複数の情報メディアを比較し、それぞれ特徴について考えている。(2) 目的や状況に応じたメディアの選び方を理解しようとし、その特徴を図や表などにまとめている。(1)(3) 短歌を作者の心情を考えて朗読する。(3) 語句の効果的な使い方や表現の美しさを味わう。(2) 短歌に関する知識や技能を理解する。(1) 文章を読んで理解したことや考えたことを経験や知識と結び付け伝え合おうとしている。(3) 言葉に対する筆者の考え方を捉え、自分の考えをもつ。(1)(2) 本を読む楽しさを知り、さまざまな本を読む。(3) 今後どんな本を読んでいきたいかを考えている。(1) 翻訳の違いによって作品の印象が異なることを知り、他の翻訳作品を楽しもうとしている。(1)(3)
2	8	4 人間のきずな(16H)	登場人物の言動や表現の効果から人柄や心情を読み取っている(2) 進んで登場人物の言動の意味や表現の効果について考え、作品の印象を伝え合おうとしている。(3)	
	9	聞き上手になろう ―質問で思いや考えを引き出す 敬語	論理の展開に注意して聞き、どのように質問をすると相手にさらに話したくなるか考えている。(1)(3) 話の要点や全体像を考えながら聞き、話を広げたり深めたりする質問をしている。(2) 敬語の働きを知り、敬語を使う生活場面を想定している。(1)(3)	
	10	5 論理を捉えて(13H) 根拠の適切さを考えて書こう 立場を尊重して話し合おう ―討論で多角的に検討する	自分の考えが伝わる文章になるように工夫し、通信手段を選んでいる。(3) 適切な言葉を選んだり、表現の工夫をしたりして通信文を書いている。(1)(2) 筆者の主張に対する自分の考えを文章にまとめようとしている。(3) 文章全体の構成を捉え、意見と根拠の結びつきや論の進め方を吟味したり、筆者の主張がどのような根拠によって支えられているのかを理解している。(1)(2) 根拠の適切さを考え、意見文を書こうとしている。(3) 自分の意見を支えるための適切な根拠を選んだり、想定される反論に対する意見を示したりしている。(1)(2) すすんで互いの立場や考えを尊重し、討論しようとしている。(3)	
	11	6 いにしえの心を訪ねる (16H)	詩全体の世界を豊かに想像し、詩を朗読しようとしている。(1)(3) 詩の中の表現技法に着目し、その効果を考えている。(2) 古典に表れたものの見方や考え方を知り、古典の文章独特の調子やリズムを意識して朗読しようとしている。(3) 登場人物の言動の意味について考え作品を読み深めたり、それに対する作者のものの見方、考え方を理解している。(1)(2)	
12	7 価値を語る(12H) 魅力を効果的に伝えよう ―鑑賞文を書く 読書に親しむ(2H)	漢文特有の言葉遣いや調子を意識して朗読している。(1) 好きな漢詩を選び、気に入った表現や句を引用しながら詩の構成や表現の効果について考えたり、好きな理由を述べようとしていたりしている。(2)(3) 二つの文章を比較したり関連づけたりしながら、それぞれの文章が書かれた目的や意図を考えたり、共通点や相違点を表に整理したりしている。(1)(2) 作品の魅力が伝わるよう、より効果的な語句や表現を選び、鑑賞文を書こうとしている。(1)(2)(3) 教材文を自分の知識や経験と結び付けて読み、本や文章にはさまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、感想を伝え合おうとしている。(2)(3)		
3	1	8 表現を見つめる(22H)	登場人物の人物像や表現のしかた、言動の意味などについて考え、作品の魅力や文章にまとめようとしている。(2)(3) 登場人物の漢語を和語に置き換えると、印象がどのように変わるかを考えている。(1) 「メロス」や「王」の言動に着目して、人物の考え方や心情の変化を読み取っている。(2) 「メロス」の行動や考え方で共感できたところ・できなかったところを自分の知識や経験と結び付けて考えている。(2)	
	2	構成や展開を工夫して書こう ―「ある日の自分」の物語を書く 国語の学びを振り返ろう	文章の構成や展開を工夫し、物語を創作しようとしている。(3) 起承転結の流れで構成を考え、それぞれの場面での出来事や心情を整理して書き、書いた物語を友達と読み合い、より良い点や改善点を伝え合っている。(2) 文章の構成や展開を工夫し、今までの学習を生かして壁新聞を作ろうとしている。(3) 結論を見出しに、詳細を本文に書いたり、伝えたいことの優先順位を考えて、記事の大きさや割り付けを工夫したりし、読み手の立場に立って推敲している。(1)(2) 壁新聞のテーマと内容について、お互いの意見の共通点・相違点を明らかにしながら話し合い、出た意見を表などをういてまとめている。(1)(2)	
	3	(8H)	「木」 学習を振り返ろう	詩を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、作者のものの見方について話し合おうとしている。(2)(3) 「愛」「正義」などの抽象的な概念を表す言葉に着目し、詩の中での意味を考えている。(1) 「卒業生に贈る言葉」についての提案を論理の展開に注意して聞き、話し手の伝えたいことを捉えている。(2) 敬語の働きを理解したり、「卒業生に贈る言葉」を選んだりして、話の構成を工夫し、読み手の立場に立ち表現の効果を考えて、自分の気持ちが伝わる文章になるように推敲している。(1)(2)

合計140h

※週に一度程度、文法を学習する。また、適宜書写を取り入れる。

(1) 知識・技能 (2) 思考・判断・表現 (3) 主体的に学習に取り組む態度 ※授業内活動：書くこと(作文やそのメモ)、読むこと(読み取りの活動)、話すこと・聞くこと(話し合い活動)などの取り組み